

認知症本人大使（さが認知症すまいるリーダー）の任命について

令和元年に政府によってとりまとめられた「認知症施策推進大綱」では、「普及啓発・本人発信支援」が認知症施策の柱の1つとされています。

また、令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」においては、地方公共団体が「認知症の人が生きがいや希望を持って暮らすことができるよう、認知症の人が自らの認知症に係る経験等を共有することができる機会の確保」に取り組むことが明確化されました。

これらを踏まえ、県では、県民の皆さま一人ひとりに認知症への理解を更に深めていただけるよう、新たに任命する認知症本人大使「さが認知症すまいるリーダー」にご協力いただき、本人の思いや「新しい認知症観」の発信に取り組めます。

【さが認知症すまいるリーダーについて】

【活動内容】

認知症理解のための普及啓発にご協力いただきます。

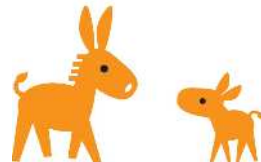
- ① 県が行う認知症の普及啓発活動への参加・協力
- ② 県の認知症施策へのご意見、ご提案
- ③ 認知症サポーター養成講座における本人メッセージの提供 等

【任 期】

任命日より2年間
(令和6年9月21日～令和8年9月20日)
※任期途中の退任及び任期満了後の再任は妨げない

【任命日】

令和6年9月21日（土曜日）



【新たに任命する2名のご紹介】

吉富 義純（よしとみ よしずみ）様

佐賀市在住 73歳

<略歴>

70歳の時、アルツハイマー型認知症と診断される。
明るく前向きな性格であり、自分に出来ることであれば何でも挑戦したいとピアノを独学で始め、様々なボランティア活動を精力的に行っている。

右近 守（うこん まもる）様

小城市在住 83歳

<略歴>

82歳の時、アルツハイマー型認知症と診断される。
4歳の時に被爆した経験を持ち、認知症と診断された後も子どもたちに「平和の大切さ」や「戦争の悲惨さ」についての講和を続けている。